

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

香川大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増及び「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき 5 名の恒久定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 7 名の臨時定員増を、また、平成 24 年度及び平成 25 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した各 1 名の臨時定員増を、平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員については、平成 30 年度に「新成長戦略」等を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までの期限を付した 5 名の地域枠として再度の臨時定員増を、それぞれ実施した。

平成 31 年度を期限とする 14 名（「緊急医師確保対策」に基づく 5 名並びに「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく 9 名）の入学定員について、平成 30 年 6 月 15 日の閣議決定「経済財政運営と改革の基本方針 2018」を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までに認可を受けた臨時的な定員数から 2 年間を通じて地域枠の学生を確保できていない定員数を減じた数を上限として令和 3 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和 2 年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 95 名から 109 名に変更する。

これに併せて、収容定員についても令和 3 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 595 名から 623 名に変更する。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

医療は国民生活に欠くべからざるものであり、誰もがいずれの地域にあっても必要な医療を受けられ、また地域医療に従事する医療従事者が働きがいを感じる医療の現場を実現していくことが必要である。

香川県においては、へき地医療を担う医師や産婦人科と麻酔科などの医師数が全国平均を下回っており、どこでも、適切な医療を享受できる体制を一層整備する必要がある。

政府の「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき「地域の医療が改善されたと実感できる」実効性のある策を講じて地域医療の向上に寄与するため、令和 2 年度から医学部医学科の入学定員を 14 名増加する。同時に、学生を卒業後、地域に定着させるための大学の取組として、地域医療に貢献するマインドを持った医師を養成するための教育プログラムを一層整備する。併せて、卒業生による地域医療への貢献を促進するための取組を実施する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【地域医療を担う医師の養成に関する取組の変遷】

- ①1 年次の授業科目「医学概論」において、香川県立中央病院へき地医療支援センター医師による講義「医療と地域社会」を実施している。また、「医療プロフ

ェッションナリズムの実践Ⅰ」では、山間部医療、在宅医療について、学外の医師から実践的な講義を実施している。平成 24 年度からは地域の医療機関、老人保健施設、福祉施設等にて見学実習を実施している。

- ②3 年次の授業科目「課題実習」において、平成 21 年度から地域医療実習を行うコースを設けている。
- ③香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター（平成 22 年 7 月設置）により、平成 23 年度から医学実習Ⅰの中で、地域医療臨床実習を 1 週間実施している。これは、県内の地域医療の基幹となる医療機関での実習であり、当初 6 医療機関で開始されたが、現在は 12 医療機関の協力を得て実施している。さらに医学実習Ⅱは、実習期間を平成 30 年度から 3 クール（9 週）、平成 31 年度からさらに 2 クール（6 週）増やし計 27 週とし、履修年次は 6 年次から 5・6 年次にまたがる必修科目となった。また、地域医療等の病院での地域医療臨床実習は、3 週間の選択必修から必修へ変更し、当初 3 医療機関で開始されたが、現在は 11 医療機関の協力を得て実施している。これ以外にも、附属病院総合内科をはじめとした臨床系講座が、県内の病院、診療所での実習を実施している。以上により、医学実習Ⅰ・Ⅱの実習期間は合計 69 週となっている。
- ④6 年次の授業科目「医療総合講義」において、「地域に求められる医師像～在宅医療・高齢者医療を中心に」の講義を、香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センターが中心になり実施している。
- ⑤香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター（平成 15 年 4 月設置）に専任教員を配置し、研修環境やシステムの充実、研修医のニーズに応じた自由度の高い研修プログラムを提供している。
- ⑥香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムでは、2 年目に研修医全員が 3 ヶ月以上最長 1 年の期間、県内の協力型病院にて研修し、卒後臨床研修を通じて地域医療に貢献している。
- ⑦香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センターが中心となり、香川県での地域密着循環型の卒後臨床研修及び専門医研修のシステムにつき、在学生には低学年から定期的の実施している。
- ⑧平成 24 年度に策定された「新地域医療再生計画」に基づき、香川県及び県内の自治体から「神経難病講座」「地域包括医療学講座」「地域連携精神医学講座」「地域医療再生医学講座」「自治体病院支援・推進医学講座」「地域医療連携医学講座」「循環器・腎臓疾患地域医療学講座」の地域医療に関連する寄付講座が開設され、より充実した地域医療教育が可能となった。
- ⑨香川県と連携し、在学中の県民医療推進枠及び地域医療推進枠の学生（修学生）に対し、香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会（地域医療スピリット）を提供している。

令和 2 年度
医学部入学定員増員計画

香大総第 5 3 号
令和元年 9 月 1 0 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人香川大学長 寛 善行



「地域の医師確保等の観点からの令和 2 年度医学部入学定員の増加について（令和元年 9 月 2 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	副医学部長・荒木伸一
	TEL	0 8 7 - 8 9 1 - 2 0 8 9
	FAX	0 8 7 - 8 9 1 - 2 0 9 2
	E-mail	naraki@med.kagawa-u.ac.jp

大学名	国公立
香川大学	国立

1. 現在(令和元年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
109	5	0	679



(収容定員計算用)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
(ア)入学定員	109	109	109	109	109	109	654
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	114	114	114	114	114	109	679

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和2年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	5	0	595



(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	95	595
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和2年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
109	5	0	623



(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	109	109	95	95	95	95	598
(イ)2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	114	114	100	100	100	95	623
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 14

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	14
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	0
計	14

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 **14**

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 香川県	14
大学所在地以外の都道府県	
計	14

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	H30地域枠定員 (※1)	H30貸与者数 (※2)	R1地域枠定員 (※1)	R1貸与者数 (※2)	H30とR1の貸与 者数のうち多い 方の数
香川県	14	10	14	14	14
					0
					0
					0
計	14	10	14	14	14

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和2年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置
1-1. 地域枠学生の選抜

① **令和5年度に実施した地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。**

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考	
県民医療推進 枠 (i) 推薦入試 (指定校推薦を 含む)	別枠(区別型)		25	5	学校長から提出される推薦書・調査書の内容及び入学 部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し、大 学入試センター試験の成績を参考として合格者を決定し ます。 ・大学入試センター試験の『英語』は、筆記試験及びリス ニングの成績を利用します。ただし、大学入試センター からリスニングを免除された者は、筆記試験のみとし ます。 ・合格判定基準 推薦書の提出形態及び順位を決定します。 ただし、小論文又は面接のいずれか一方を満足してい ない場合は、本学の合格者とはなりません。 ・I 本学が指定した大学入試センター試験の成績が本学 の定める基準に満たない場合は、総合点の順位にかかわ らず不合格となります。面接の結果をもとに総合点 の順位を決定する場合があります。面接の結果による の不合格は、面接の成績を参考として合格を決定しま す。 ※上記の合格判定基準に関する個別の問い合わせに ついては、応じられません。	次の各々の要件すべてを満たす者であって、人物が優秀で、高等学校長 及び推薦書提出者の推薦に基づき、令和4年4月1日以降に卒業し及び令和3年3月に卒業見込 みの者 (1) 高等学校卒業(普通科)または令和3年3月に卒業見込 (2) 高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の学習成績欄にA (3) 高等学校において、物理、化学及び生物(理数科)にあっては、理数物理 基礎化学及び臨検生動物のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B (基礎数学)及び化学基礎を履修し、それぞれ総合点(履修)及び平均点(履修)が 各科目当該科目の合格標準(履修)及び総合点(履修)の平均値(履修)以上を 満たし、教育課程の履修内容により履修内容が上記科目区分にないとい 合。また、かつ1日の高等学校での履修単位の高等学校の卒業要件として 卒業し、かつ、令和3年4月1日(令和3年10月1日)までに履修が完了している者 の科目までと、併し、併せてない場合は、出願を受理しません。 (4) 推薦書上、書類は、入学を断りません。 (5) 推薦書上、書類は、入学を断りません。			
	別枠(区別型) (ii) 推薦入試 (指定校推薦を 含む)				(1)小論文 小論文は、単なる作文力テストではなく、学校長から 推薦される推薦書及び調査書の内容を踏まえ、面接に 基づき、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性を 判定するために用います。 (2)面接 推薦書及び調査書の提出と面接の結果を参考として合 格を決定します。面接は、調査書と面接の重要な資料 として用います。 (3)推薦書 推薦書は面接の際に加えます。香川 県民医療推進枠においては、通常の面接に加え、香川 県による面接があります。 入学者の選抜は、大学入試センター試験と本学が実施 する個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合 (総合判定基準) 【大学入試センター試験の利用教科科目名】〔教科科7 科目〕 国語〔必須〕、数学Ⅰ〔必須〕、「物理Ⅰ」「物理Ⅱ」「地 理Ⅰ」「地理Ⅱ」「生物基礎」から1科目、 英語〔教Ⅰ・教Ⅱ〕必須〔教Ⅱ・教Ⅲ〕〔簿・算〕〔関 報から1科目 理科〔物Ⅰ〕「化Ⅰ」「生Ⅰ」から2科目 外国語〔英〕〔蘭〕〔仏〕〔中〕〔韓〕から1科目 (個別学力検査等)〔芸術科目〕〔必須〕 (総合判定基準) 国語〔必須〕、数学Ⅰ〔必須〕、「簿・算」〔関 報〕〔物Ⅰ〕〔物Ⅱ〕〔化Ⅰ〕〔化Ⅱ〕〔生Ⅰ〕〔生Ⅱ〕 理Ⅰ〕〔理Ⅱ〕〔簿・算〕〔関〕 外国語〔英〕〔蘭〕〔仏〕〔中〕〔韓〕から1科目 必須 芸術科目〔必須〕 外国語〔必須〕	前開日程において、地域医療推進枠に出願できる 者は、一般入試学生募集要件の出願資格に該当 し、かつ、「地域医療推進枠」で出願し合格した場合は は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる 者に限ります。 なお、地域医療推進枠に出願する者は、通常の一 般入試(一般枠)を併せて出願することができます。 ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は平成31 年3月までに卒業見込みの者 ② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける意 思のある者 ③ 将来、香川県が別途定める医師機関(香川県内 の公立病院等)で一定期間(9年間)医師の業務に 従事する意思のある者			
地域医療推進 枠 (iii) 一般入試地 域枠(前期・後 期)	別枠(区別型)		59	9	小論文 出題は、英語による問題(小論文Ⅰ)と日本語による理 科系の論述式問題(小論文Ⅱ)とします。 面接 面接は、医師及び医学研究者としての 適性を判定するために用います。 地域医療推進枠 「地域医療推進枠」の大学入試センター試験の教科科目 目及び個別学力検査等の実施教科科目等について は、一般入試(前期日程)と同じです。それに加え、香川 県民医療推進枠では、面接の結果をもとに合 格となる場合があります。これに加え、地域医療推進枠で は、香川県による面接の結果を参考として合格を決定 します。				
合計			84	14					

(※1) 貴大学の学生募集要件の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②令和2年度に実施する地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合は、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
県民医療推進 校	(i)推薦入試 (指定校推薦を 含む)	別枠(区別型)	25	5	<p>・学校基から抽出される推薦書・調査書の内容及び本学が実施する小論文、面接の結果を総合的に判断し、入学入試センター試験の成績を参考にして合格者を決定します。</p> <p>①小論文は、推薦書の「志願理由」は、第1回試験及びリスキングの成績を参考にします。ただし、入学入試センターからリスキングを免除された者は、第2回試験のみとなります。</p> <p>②面接は、推薦書の総合点で順位を決定します。</p> <p>③小論文及び面接の内容は、面接の開始から15分以内で、面接の進行を促進するために、面接時間内に提出する小論文は、推薦書に記載された内容に限定され、本学が指定した入学入試センター試験の成績が本学の定める基準に満たない者は、総合点の如何にかかわらず不適合となります。上記に追加で香川県による推薦書提出が必須となります。</p> <p>④面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑤面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑥面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑦面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑧面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑨面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑩面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑪面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑫面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑬面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑭面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑮面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑯面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑰面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑱面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑲面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>⑳面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉑面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉒面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉓面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉔面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉕面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉖面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉗面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉘面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉙面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉚面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉛面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉜面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉝面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉞面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㉟面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊱面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊲面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊳面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊴面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊵面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊶面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊷面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊸面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊹面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊺面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊻面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊼面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊽面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊾面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p> <p>㊿面接は、推薦書及び面接の結果をもとに総合点の如何にかかわらず不適合となります。</p>			
地域医療推進 校	(iii)一般入試地 域枠(前期・後 期)	別枠(区別型)	59	84	<p>前期日程において、地域医療推進校に出願できる者は、一般入試学生募集要項の出願資格に該当し、かつ、「地域医療推進校」で出願し合格した場合、かつ、「地域医療推進校」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります(募集については調整中)。</p> <p>なお、地域医療推進校に出願する者は、通常の一般入試(一般枠)を併せて出願することができます(募集については調整中)。</p> <p>①香川県内の高等学校を卒業した者又は2020年2月までに卒業見込みの者</p> <p>②香川県医学生修学資金Jの貸付けを受ける意のある者</p> <p>③将来、香川県が別途定める医療機関(香川県内の公立病院等)で一定期間(9年間)医師の業務に従事する意思のある者</p> <p>※香川県医学生修学資金Jの詳細は、香川県ホームページ(https://www.pref.kagawa.jp/)から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。</p>	H21以前	R1年11月上旬公表予定のため(学生募集要項案)	
合計			84	14				

(※1)貴大学にて作成予定の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

① 地域枠学生が卒業に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和2年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、「医学概論」において「医療と地域社会」の講義や「医療プロフェッショナルの実践Ⅰ」として地域の医療施設等での臨床実習を実施している。3年次には、「課題実習」において地域医療実習を行うコースを設けている。4年次には、「衛生学」において香川県環境保健研究センター等施設にて地域保健医療の見学実習及び「公衆衛生学」において「地域医療の現状と課題」講義や学外での体験学習や訪問調査等を実施している。4～5年次には、「医学実習Ⅰ」として1週間の地域医療臨床実習を、5～6年次には、「医学実習Ⅱ」として平成30年度から3週間の地域医療臨床実習を実施している。

(参考:記入例)

1～2年次には、「〇〇」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、×××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和2年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

② (過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

(参考:記入例)

平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和五年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③ 上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	医学概論	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
1年次	医療プロフェッショナルの実践Ⅰ	全員	必修	必修	実習	2	H24
3年次	課題実習	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4年次	衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4年次	公衆衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4～5年次	医学実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	14	H21以前
5～6年次	医学実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	8	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみ)の場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域科学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和元年度以前から継続する取組を含む)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
地域医療スピリット	香川県と連携し、修学生に対して香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会を提供している。	H21以前

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携

① 都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例: 200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
香川県	5	新入生	120,000	8,640,000	医師の免許取得後直ちに、9年を限度とする義務年限において、県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく初期臨床研修を開始し、これを終了した後、引き続き、7年を限度として、知事が貸付者ごとに指定する医療機関等において業務に従事したとき。	② 大学における選抜と同時に関道府県において面接等を実施	○	専門診療科では、内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医	香川県による面接の結果を参考として、合否を決定する。(県民医療推進枠)	
香川県	9	新入生	120,000	8,640,000	医師の免許取得後直ちに、9年を限度とする義務年限において、県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく初期臨床研修を開始し、これを終了した後、引き続き、7年を限度として、知事が貸付者ごとに指定する医療機関等において業務に従事したとき。	② 大学における選抜と同時に関道府県において面接等を実施	○	専門診療科では、内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医	香川県による面接の結果を参考として、合否を決定する。(地域医療推進枠)	

(※1) ○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

② その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援) (1~2行程度)

取組の名称	取組の概要 (1~2行程度)	開始年度
香川県による修学生との個人面談	香川県と連携し、医学部キャンパス内で年1回は香川県と修学生との個人面談の機会を持つようしている。	H21以前

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

3. その他

1～2に記入したものを以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

優秀な県内出身者の志願者増を図るため、県内の高等学校や予備校等への訪問の機会を設け、積極的に広報活動を行っている。併せて、県内の高等学校等からの大学訪問についても随時対応している。また、修学生に対して、在学中は地域医療教育支援センターが、卒業後は卒後臨床研修センターが中心となり相談や指導等のサポートを行っている。



元医国第 36492 号
令和元年 9 月 4 日

厚生労働省医政局長 様

香川県健康福祉部長



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和元年 9 月 2 日付け元文科高第 391 号、医政医発 0902 第 3 号に基づき、下記のとおり、令和 2 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

今後、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に位置付けるための必要な手続を行います。

記

- 1 増員数
14 名
・香川大学医学部における地域枠：14 名
- 2 計画
今回の地域枠増員について、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に盛り込む。